

松江工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		授業科目	ふるさと産業学	
科目基礎情報							
科目番号		0002		科目区分	専門 / 選択		
授業形態		授業		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科		専門共通		対象学年	3		
開設期		後期		週時間数	2		
教科書/教材		教科書は特に指定しない。					
担当教員		箕田 充志,堀内 匡					
到達目標							
1. 島根の歴史・文化・産業に対する一定の知識と理解がある。 2. 島根の歴史・文化の魅力や産業の特徴について説明できる。 3. 島根の抱える問題点について理解し、提言を行うことができる。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		島根の歴史・文化・産業に対する一定の知識と理解が十分にある。		島根の歴史・文化・産業に対する一定の知識と理解がある。		島根の歴史・文化・産業に対する一定の知識と理解がない。	
評価項目2		島根の歴史・文化の魅力や産業の特徴について正しく説明できる。		島根の歴史・文化の魅力や産業の特徴について説明できる。		島根の歴史・文化の魅力や産業の特徴について説明できない。	
評価項目3		島根の抱える問題点について理解し、提言を行うことが十分にできる。		島根の抱える問題点について理解し、提言を行うことができる。		島根の抱える問題点について理解し、提言を行うことができない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要		・ 少子高齢化と人口減少の時代を迎え、国をあげて地域創生が叫ばれている。優れた人材を確保することは地域社会の維持に欠かせないが、一方で本校の卒業生の多くが地元を離れ、都会へ就職していく。県外の方が魅力的な仕事が多いのも事実だが、島根を離れて初めて地元の良さを認識したという話も多く聞かれる。この授業では意外に知られていない地元島根の良さを、博物館・資料館での学修や観光施設等の見学を通じて改めて認識することを目標とする。 ・ 授業は金曜7,8限の開講とするが、毎週実施するのではなく、一ヶ月に1回程度、原則として土曜もしくは日曜に博物館や資料館等へ見学に行く。歴史的な町並みを歩いたりして半日～1日の学習を行い、パワーポイントを用いて発表資料を作成する。					
授業の進め方・方法		・ 評価は発表会および見学報告書で行う。内容は到達目標の1～3に関するものとする。 ・ 発表会の評価はA (80 点以上) ・ B (60～79 点) ・ C (50～59 点) ・ D (50 点未満) E (不参加及び未提出・0 点) の5段階とする。 ・ 全体の50%以上の得点で合格とする。					
注意点		・ 受講人数は40 名とする (バス1台)。 ・ 見学は90 分授業の複数回分とする (シラバスを参照)。 ・ 実施予定日以外の金曜7,8限に資料作成を自主的に行っても良い。 ・ 定期試験はありません。 ・ 再試験はありません。					
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	授業の概要説明・事前学習 (授業の内容, スケジュール, 成績評価方法, 奥出雲たたら製鉄に関する調査)		実施予定日: 9/27(金) 7,8限		
		2週	奥出雲たたら製鉄関連の見学(1)		実施予定日:10/20(日)		
		3週	奥出雲たたら製鉄関連の見学(2)		実施予定日:10/20(日)		
		4週	奥出雲たたら製鉄関連の見学(3)		実施予定日:10/20(日)		
		5週	安来地区会社見学(1)		実施予定日:10/25(金) 7～10限		
		6週	安来地区会社見学(2)		実施予定日:10/25(金) 7～10限		
		7週	まとめ (奥出雲たたら製鉄関連の見学報告書の作成)		実施予定日:11/8(金)		
		8週	まとめ・事前学習 (安来地区会社の見学報告書の作成, しまね大交流会に関する調査)		実施予定日:11/15(金)		
	4thQ	9週	しまね大交流会(1)		実施予定日:11/16(土) 午後		
		10週	しまね大交流会(2)		実施予定日:11/16(土) 午後		
		11週	まとめ・事前学習 (しまね大交流会の参加報告書の作成, 安来地区会社に関する調査)		実施予定日:11/29(金)		
		12週	安来地区会社見学(3)		実施予定日:12/6(金) 7～10限		
		13週	安来地区会社見学(4)		実施予定日:12/6(金) 7～10限		
		14週	まとめ・発表会資料作成 (安来地区会社の見学報告書の作成, グループによる発表会資料作成)		実施予定日:12/13(金) 7,8限		
		15週	発表会 (グループで発表)		実施予定日:1/10(金) 7,8限		
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
基礎的能力	工学基礎	グローバルゼーション・異文化多文化理解	グローバルゼーション・異文化多文化理解	それぞれの国の文化や歴史に敬意を払い、その違いを受け入れる寛容さが必要であることを認識している。	3		
				それぞれの国や地域の経済的・社会的な発展に対して科学技術が果たすべき役割や技術者の責任ある行動について説明できる。	3		
評価割合							
			発表		合計		
総合評価割合			100		100		
基礎的能力			0		0		

專門的能力	100	100
分野横断的能力	0	0